



### 讀書雜感 三

五十嵐雄之

「日は好日」何と良い言ものは相當の尊敬と限りな  
業であらう。味よき言いと惜まぬ。私の研  
業であらう。毎日を朗明に究つてゐた川添婦人科教室  
平和に思想し生活すること 阿部理教室などにも  
は新現主義を奉ずる私に支那人、台湾本島人、朝鮮  
には一番幸福なことがある。比島人等が三人宛は  
思へば果敢ない一生を一日研究してゐたが、自分達の  
たよりも不伏や愛憎の間にともすると頭から人種的差  
過されやう、不快も變じて 別觀念をもつて臨むのに  
快となし、禍も轉じて福と流石教授は一視同仁少しの  
なして一日も無意義にした 差別もなく否むる天涯の  
くないものである

新著の三田評論(九月號)  
目下在獨中の慶大法学部 臨時に招待された際にも或  
の新進學徒今泉孝太郎學士 するところがあつたりも  
といふ同大九ヶ月間の生いさゝかの差別待遇がない  
活體驗記が載つて居る 眞理探究の道には皆一様の  
興味深く讀んだ。特に大研究者として扱はるるには  
學法學部長ランゾ教授が筆致に堪へない  
者に對し公私に互り親切を  
盡して呉れた情況をこと細  
かに感激に充ちた筆致で書  
いてあるのを見、徐ろで  
十餘年前の若き學徒として  
自分の姿を想起して眼頭  
の熱くなるを覺れた。學者  
の眞理を愛し誠實を尚ぶ、  
故にたとへ若い青年學徒で  
あつても努力の結晶により  
輝かしい業績を生み出した

### 野麥社短歌會詠草

十日マルトモ

- 冷たかる雨晴れにして陽のさせばもみぢ葉先  
きの秋はたけなは 野原百合雄
- 若き希望は捨てがてぬか夕光に襟裾の葉動  
く硝子見てをり 城 芝
- 霞もなほ霧けき秋のはがくれに濡れしつぎつ  
つ虫の啼きをり 野本多霞夫
- 葉鶏頭燦と燃わていきはへる秋陽の縁のバ  
カンの音 同
- つれづれの日あしたまも大輪の菊の諸葉の  
色は深めし 佐藤清長
- 梧桐の枝に吹きこむ風に揺れ揺れて葉裏はひ  
もがへりけり 同

天気豫報  
今晩は南西の風晴  
明日は北の風はれ

國のため仇なす敵はく  
だくとも、いつくしむ  
べきことな忘れぞ  
と仰せられてゐるが、洋の  
東西を問はず偉大なる學者  
の心境は正にこれと一致し  
てゐるやうである。地方に  
移り住んで不満や不足は数  
々あるが、わけてもこの學  
者の間の清い交遊にひたる  
この出来ないのは悲しみ  
の最たるものであらうか  
(一一、一〇初旬)

日暮れどき  
永 芳

静かな一時  
日暮れどき  
おひさま  
おひね  
山のかげ  
からすが  
歸つてく  
静かな一時  
日暮れどき

悲劇  
講談

10月13日  
△日道入上(弘  
安五)△東京遷都  
書下(同四)

弔白虎隊士墓  
珠雲 小野野平  
樹緑春花歸夢正  
翠陣十傳笠笠若  
冠軍已抱丈夫節  
一死千秋敬仰長



石薬師は、代官殺しの事件  
突發で鼎の沸くやうな大騒  
ぎだ  
芝本の代官所が、刑部  
對する捜査の手は益々厳重  
の度を高め、東西上下り  
の本街道は勿論、南北に通  
する間道に於けるまで、臨  
の關所へ設けられる有様  
で、文字通り蟻の這ひ出る  
隙間もない。  
こうして空しく過す七日  
間。八日目の朝を、迎へて  
も、天を賑げたのか、それ  
も地に潜つたのか、査と  
して行衛が知れないのみ  
らず、これと云ふ手掛りす  
ら見當らない。代官所の  
標は言語に絶した

「俺だよ」

「なる程さうか、で。また  
此の土地に居るんかい？」  
「居るさ、あの通り方々に  
關所まで設へての騒ぎだも  
の、御當人だつて動かれね  
えや」

「遠いね、まつたく役人  
の騒ぎつたらなかつたら  
なア」

「あれで分らねえから可哀  
相なもんな」

「まさかあんな所に隠れて  
ぬやうなア思はわねえか  
燈臺元暗したアよく云つた  
ものなせ」

「一體何處にゐるんだ」  
「甚兵衛の水車小屋だよ」  
「ふん、うめまところへ  
行きやアがたなア。なる  
程それや氣がづかねえや  
とうしてあの娘は？」  
「その娘が、浪人をあすこ  
へ匿まつたんだ、甚兵衛は  
もつと宇屋の酒六だつたが  
らうよ」

「なる程さうか」  
「だから此の狂言は、筋骨  
以上に面白くなりやがた  
イ、これからチヨク、娘  
から小道がしはれるしよ  
う」

「有難えや、どうだ。久し  
振りにまた給茶屋で一杯や  
らうか」  
「一時解放と共に、勘太の  
行動を監視して下し捕縛が  
いけなかつたか、それで  
べの代官所だ」  
「とつとつとつは、桑原  
々々」  
「代官所を出た勘太は、首  
を撫でながら、足の向く先  
は小六の家だ  
「屋るかい小六、われまじ  
に遇つたせ」  
「お、わやア勘太、必  
配してゐた一體どうした  
んだ」  
「どうもさうもあつたも  
んぢやねえ、非道な目にあ  
つたよ」  
「どうしてぞお前、此方  
から訴へて出たのが怪しい  
んで、ボーンと投り込ま

野原百合雄  
1 〇二階の泉物言聲の母に似てその氣質までは  
はに能く似る 佐々木 順

吉岡 獨歩  
2 〇この一球最後のコース見極めつ聲にはいだし  
られたらむら (野球) 村 清

3 〇磯千鳥飛び来て鳴ける聲澄みこの静か夜を  
海の荒るよみ 美崎 一郎

1 〇店頭の時局ニュースに聲を呑み息をひそめて  
人等聞き居り 吉岡 獨歩

〇線下に時おきて鳴くこほろぎの聲のあはれは  
告ぐべきものを 城 芝

〇老ひ病みの我母床に永くあり聲求むる聲のか  
なしも 野原百合雄

1 〇さうげ来る白木の箱に驛頭を埋むる人等たゞ  
聲を吞む 永山 徳一

1 〇取況のラヂオ男まし子ら健く朝餉に並ぶ秋晴  
れにして 赤井 謙男

石炭値上御通知

磐城一等塊 一金五十錢也  
磐城二等塊 一金四十錢也

品川豆炭 金八十五錢也  
大袋 五貫匁入 金二十三錢也  
小袋 一貫匁入 金九十五錢也

一、コールドール 金九十五錢也  
(十五キ口入)

一、依ヨリ配達シマスカラ是非御注文下サイ

電話三七番

阿部石炭店

産科 婦人科 外科 藥局

院長 木村寅次郎

醫學博士 内木宗八

藥劑師 大岩 俊雄

平市新川町十九番地

入院隨時 病室完備

木村病院

電話一六四番

平市公園下

柔原柔道整骨院

電話六七四

リウマチス、オレンヂ

神 經 痛、オレンヂ

日本石油株式會社特約店

關影商店平支店

本店 水戸線下館驛前  
電話 六一番  
(電話五五、三三九番)

支店 茨城縣(電話八五三)  
土浦町田宿  
常磐線(電話八五四)  
常磐線(電話四四四)  
久慈線(電話四一八)  
久慈線(電話三七番)

支店 小名浜支店  
支店 海山支店  
支店 江名支店

舍大 大藥會

電話下谷六六七番

前野上東京東  
角通局便郵谷下

私は平市出身ですから特に郷里の  
皆様方の爲めに御便宜を圖ります  
主人 比佐棟雄

精神科 脳脊髄病科 神経病科

郡山脳病院

郡山市外大槻村針生  
電話九二五番

院長 醫學士 金森五郎

入院隨時

酒は良し 気分は満點

平市田町

おでん 吞兵衛

マシンの設備

☆非常時に備へる

銃後婦人の途

それこそ一回の御手當で  
六ヶ月を保つパーマント……

△時間の經濟と能率増進……

△非常時にふさはしい御洋装……

△洗髪も御任意のま……

◎パーマントは歐洲大戦以來の流行  
御家庭の満足も、美容の保全から生る  
平市驛前

水野化粧院

主 水野冬子  
電話一五二五番  
六七八番

時局益々重大

愈々極寒に向ふ

第一線に立つ皇軍將兵に

慰問品を贈りませう……

セーター (厚地)	3.50	5.50
タック (厚地)	2.00	3.00
シャツ (厚地)	3.00	5.00
セーター (縮入)	5.50	7.00
セーター (縮入)	7.00	1.20
セーター (縮入)	60	1.20

ツルヤ 電一四〇

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士

婦人科 五十嵐雄二

往診 平市新川町「電話三六九番」

磐城の御みやげ品

名産 靈峰羊羹 金十錢

柿羊羹、のり羊羹、  
沼内辨天羊羹、  
御旅のお出入には好個のお土産です。  
小賣御希望の方お申下さい。  
小川郷驛前

製造發賣元 平屋賣店

郡山脳病院

郡山市外大槻村針生  
電話九二五番

院長 醫學士 金森五郎

入院隨時

### 多忙な昨今の世相は 料金関係で客を減さぬ

自動車値上げと一部の観測

部分品及びガソリンが留所が設けられぬ限り、今日の如く妥協ある態度に出  
ンリンの暴騰以上に多くの利用者を吸て居る間いつかの實現を見  
に因る自動車收する事は困難であり所詮は客を減らすか殆ど見當がつかぬ  
協會平支部の問題は停留所の實現以外に云ふ見地から山崎平局長  
料金の二割削減無しが之と地元住民の熱心は極力地元有志不斷の  
上げに既報の心運動を必要とするので従運動を望んで居る  
如く来る十五  
日より實施さ  
れるので寄々  
利用者間に激かな衝動を起  
して居り、一部には此を轉  
機として自動車に轉向  
するものが少くあるまいと  
観測する向もあるが、勿忙  
な現在の世相は小許の料金  
を惜んで就着時間、乗降場  
等種々な不便に甘んじ  
時間と空費して願ひの程に  
悠長で無く、當初は幾分値  
上げの結果が収入の上にも結  
局値上げ前の状態に還元す  
るものと觀られてゐる。尚  
は常磐線上下十八本、磐越  
線上下八本合計往復二十六  
本の頻繁な自動車も現在の  
停車場以外適宜な場所に停

### 戊申詔書の奉讀式

「時局生活の日記」の決め  
あす各小學校で舉行

二月頃になつて来た、こ  
の悪習を打破して小麥の  
増收をはからんとするの  
が右實地指導の目的で  
今後の成果を期待されて

### 平市は最適地

建設計具具体化  
あす初参事会で熟議

現内閣の國策の一  
つである保健  
所は全國各府縣  
に一ヶ所設置さ  
れることとなり、本縣に於  
ては各炭礦、漁港などの控  
へてある關係から平市が最  
適地と目され、縣から敷地  
其他の照會があつたので市  
當局では十三日午後二時か  
ら参事會を開きこれが創設  
に關し協議する。  
二階建の建設費一萬圓は  
國負擔だが敷地三百坪  
(二千圓)は市の寄附にな  
るもの。  
この保健所は「健康相談所」  
と同様のもので体位向上、  
衛生施設を目的に左記事業  
を行はんとするものである  
衛生思想の涵養、榮養の  
改善及飲食物の衛生、衣

### アメリカと北海道へ

滑稽極まる高飛び計  
脱獄二人男、事件後日譚

飛脚は續かず、結局二の如く内郡村白水で盗んだ  
たん東京に出て今後の方針金通帳をもつて南中郡村  
針をさめることに相談。一小時矢野郵便局から拂戻  
したのが運の盡きだもの。  
(三)草野(一)鈴木(二)の兩名がその路銀つらのため既報つたもの。  
去る昭和六年にも偽造  
で挙げられた當時平署から  
逃走を企てた兇犯持ち。引  
き佐藤、本田兩司法主任  
から逃走経路などの追及を  
受けてゐるが、次は兩名が  
高飛び直前の失策はなし

### 時局的の競技に 賑々平商運動會

愈よ明十三日開催

平商學校第二回陸上運動會は既報の  
如く愈よ明十三日午前九時より秋光明  
るき揚土台の同校庭に於て開催さる  
が四十八種目中には男壯年中隊教練を  
はしめ  
武裝競争 トーナメント攻撃 騎馬戰  
野試合  
其他時局を反映した尖端的の競争もあり、天  
候に支障無くんば場所もさして遊覧なら多  
敷參觀人で非常な賑ひを呈するもの豫想され  
てゐる。因に不幸にして降雨の際は更めて期  
日を決定する。

### 日本一の優良機關車

水戸平間で性能試験  
今十二日から開始

水戸運輸事務所では東京鐵  
道局と合同の下に現在最近  
式旅客機關車としてオール  
日本鐵道の王座に君臨して  
ゐる〇五七機關車を基本と  
して更に優秀な機關車を製  
造するため日本で唯一のつ  
機關車を使用して今十二日  
から常磐線水戸平間で一  
五七の性能テストを行ふこ  
となつたがテストの結果  
は頗る注目されてゐる。

### 至急募集

一、少年工場員

小學卒業程度にして市内居住者、希望者  
來談あれ  
磐城新聞社

### 逃走の罪を加算

一兩日中に身柄送検

兩名は取調への一段落つき  
次第一兩日中に再び送検さ  
れる筈だが、今回の逃走は  
既決、未決の囚人、又は  
以上の上通謀して

### 一萬一千餘圓

後援會寄附始と纏る

平軍事後援會への寄附金其  
部の分左の如く平軍町は全  
部納つた十二日現在で一萬  
一千四百六十八圓六十二錢  
後援會では第三回目分を十  
四日各種婦人団体の手で贈  
(五丁目)十一圓熊谷元孝  
三圓箱崎忠之助 三圓七  
十八江友輝 田中繁雄  
三圓五十錢遠藤善吉 百  
錢布施しよ 丹野市太  
郎 五圓七十錢山田政  
治 十二圓八十錢星野陽  
造 二十六圓大竹芳之  
介 六圓五十錢片寄弘  
文 九圓石川榮 八圓五  
十錢志賀興市 八圓植村  
喜一 三圓山野邊東次郎  
八圓井上茂作 四圓六十  
錢遠藤善吉 三圓六十錢  
小菅岩太郎 四圓五十錢  
石川幸太郎 八圓四十  
錢島目武之助 八圓十錢  
佐藤榮二 吉田正夫

氏の反駁によりて其脚  
を踏はすに至れり、その  
北郷氏の快文字は次號に  
紹介すべし  
と附記し豫のみに讀者の好  
奇を唆つた  
次號即ち明治四十年七月  
二十五日発行の『いばき』第  
三號に載つた反對論の結核  
は各方面の學說統計等略ね  
に似たり、渠が立脚地  
醫師たる立場からの論争で  
は人口三百四十九人に対  
して一人の割合にして入  
口に比して得本は平より  
多し、この論争に於ては  
藝妓の甚だ多きを見る  
は何ぞや、之れ公娼を

平野邊東次郎創製  
効果顯著の優秀  
山野邊藥局  
平野邊東次郎創製  
平野邊藥局  
電話四四九番

三井吳服店  
電話三三・二八四番

福島縣自動車協會  
冬衣大賣出し  
十月十二日ヨリ十八日マデ  
十月は弊店の開店記念日に當りますので日頃の御  
愛顧の御禮といたし清純の呉服洋品雜貨を豊富に  
取揃へ記念賣出しを開催  
愛國パラムウント着尺新柄宣傳  
愛國製品ファイバー小紋、九寸、名古屋帶  
▲實用 御禮 禮衣裳、特賣  
奉仕品(江戶襪、丸帶、小紋錦紗、御召  
奉仕品)御紋附、御袴、長襦袢  
▲流行秋から冬、洋品、雜貨  
可愛御子様から大人までの洋品雜貨を  
御座います。おつとめ品  
▲記念品、おつとめ品  
正絹 費用御座  
金壹圓五十錢  
金貳圓八十錢  
金四圓五十錢  
羽織 金五十八錢

高島屋の洋服  
新柄背廣  
高島屋  
平野邊藥局  
電話四四九番

平野邊藥局  
電話四四九番

平野邊藥局  
電話四四九番

平野邊藥局  
電話四四九番